

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1013

所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当者名	谷 裕之
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	有害鳥獣防除施設設置事業			政策体系	235
会計	一般会計	科目	6.農林 - 2.林業 - 2.林業		

1. 事業の概要

農家組合等が事業主体となって取り組む、有害鳥獣防除施設（電気柵・格子金網フェンス等）の設置に係る経費の一部を助成する。
国の鳥獣害防止総合対策事業に基づき、市が事業主体となって防除施設の設置に取り組む。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、格子金網フェンス等の防除施設を設置するものである。

②事業を実施する必要性

被害の蔓延を防止するための自己防衛策として、必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	8,596	12,345	15,247	47,946	30,958	42,318	42,318
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	17,415	7,614	12,712
	国・府支出金	千円	7,177	10,220	10,897	27,891	17,943	23,267
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,419	2,125	4,350	2,640	5,401	6,339
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.65	0.20			
人件費	千円	—	—	3,450	1,390			
事業費総額	千円	—	—	18,697	49,336			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

格子金網フェンス・電機柵等の防除施設設置（地元関係者が事業主体）47,945千円（補助金）

5. 事業結果の概要

格子金網フェンス・電機柵等の防除施設設置（地元関係者が事業主体）47,945千円（補助金）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金の交付		
有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、格子金網フェンス等の防除施設を設置する。(事業主体：農家組合等) 41事業体 54,011m	21.4～22.3	被害の蔓延を防止するための自己防衛策として有効な手段である。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

--

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- | |
|--|
| <p>①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
間接的な防除対策の必要性。</p> <p>②当該事業のアピール事項
直接的な捕獲対策と並行して、間接的な防除対策の必要性。</p> <p>③反省点、今後の展開・方向性等
自己防衛対策としての防除施設の設置は大変有効な手段であり、引き続き事業を実施する必要がある。</p> |
|--|